

Title	「フオルクウエース」とは何ぞや
Sub Title	
Author	田中, 一貞
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.5 (1910. 11) ,p.525(25)- 537(37)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101100-0025

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

24 としてあるにあらずや。要するに集産的國家は實行し得可くもあらず、將た又希望す可くもあらず。社會主義の將來決して恐る可きものにあらず、マルクスの夢想私有財産の廢止は眞に癡人の夢のみ。

「フオルクウエース」とは何ぞや

田 中 一 貞

ウイリヤム、グラハム、サムナー博士は本年七十一歳の高齡を以てエール大學に於ける政治學、社會學の講座を擔當し博識強記講壇に立てば音吐朗々青年學生を威歴して巨人の前に屈する群羊の如くならしむ。彼は米國に於る自由貿易、貨幣制度に關する經濟學の大家として其著述中 *History of American Currency*; *Lectures on the History of Protection in the United States*; *What Social Classes Owe to Each Other*; *Protectionism* の諸書は其最も有名なるものなり。然れども余がサムナー博士を知れるは經濟學者としての博士に非ずして専ら社會學者としての博士にあり。余が一千九百一年より凡一年の間其社會學の講義を聽きし當時は博士の社會學なるもの稍舊式に屬しスペンサーの臭味甚多く、余をして充分満足せしむるに足らざりしも、其記憶の精確にして例證を引用するに當りては其材料の豊富なる敬服の外なかりき。彼は社會現象の動機をば *Hunger, love, fear* にありとし、*Hunger* によりて經濟的

「フオルクウエース」とは何ぞや

26

現象起り Love によりて家庭制度が発生し Fear あるに依りて宗教其他の信仰を生ずと説き其説簡にして痛快なれども稍稚氣あるを免れず。而して近頃は更に此三者の上に Vanity なるものを加へたるが如し。彼は社會學を稱して Sociology と云はず必ず Societology と呼ぶ Social なる形容詞をば Societal と訂正し其著書中 Social とあるべき個所には必ず Societal なる自家獨特の文字を用ゐたり。以て其性行の一端を窺ふべし。

サムナー博士は千九百一年に行はれたるエール大學創立二百年祭の際其記念として Societology と題する書籍を出版するの約束なりしも何故にや其書は今日に至るも現れず其代りに兩三年前 Folkways なる題目の下に凡そ七百頁の一書を出せり。Folk なる文字は人の知る如く人民とか平民とか譯すべき文字にして Ways は道習慣などの義なり。然れども此二字を合して單語を作ること恐らくは是も亦博士の新發明なるべし。然らば Folkways とは如何なるものを指すや暫らく博士の説く所を略述して之を批評し簡単に他の社會者の學説と比較する所あらんとす。

27

抑々人生の最も根本的なる職能は生活するに在り。去れば生活する爲の動作が最初に来るものにして思想は其動作の後に來る。但し必要缺乏と云ふことは最初の經驗にして此經驗には必ず此必要缺乏を満足せしめんとする動作の伴ふものなり。或は人間なるものは其祖先たる下等の動物より一種の本能を遺傳せられ之に依りて其慾求を満足せしむるの途を知れりと論ずるものあり。然り此一事は誰一人として之を證明せるものなしと雖種々の經驗より推考すれば多分是が事實なりしならん。縦しや果して之を事實なりとするも只其本能其儘にして多少經驗熟練の加はらざる活動は極めて拙劣なるものにして隨て始は其肝腎の目的を達すべき手段に完全せざる所ある爲苦痛失敗失望等のものは必ず頻繁に起りしことならん。是實に原人間に於ける實際の状態にして必要は發明の母なりとの語の如く苦痛と争ひ失敗と戦ひ幾多の苦がき経験を積みて漸々比較的些少の勞を以て比較的多量の効果を擧ぐるに至れるものなるや疑ふべからず。此の如く必要缺乏の満足に對する人間諸種の努力が諸種の動作となりて進む間に習慣熟達を生じ且各人は他人の経験を利用し互に模倣して爰に經驗上

勞最も少く、效最も多き方に向ひ、遂に社會一般の習俗をなすに至る。是即ち「フォルクウエース」の起原なり。故に「フォルクウエース」とは畢竟社會一般の習慣と云ふが如き意義を有するものにして、此習慣は時を経るに隨ひ益積極的となり、命令的となり、專制的となり、遂に其社會の各個人は必ず之に服従せざるを得ざるに至る。而して彼等の之に従ふや何等の理由あるにあらず、只従ふが爲に従ふものにして、若し原時代の人民に向ひ何故に汝等は或一定の場合に或一定の動作をなすやと質問すれば、彼等は單に我等の同胞が然かく行ひ又我等の祖先も然かく行ひ來りたればなりと答ふるの外なく、且つ彼等は若し此一定の習慣に背き或は之を變更する時は祖先の靈魂に依りて責罰せらるべしとの迷信を有し、此迷信は彼等に取りて極めて有力なる制裁なるや論を俟たず。

要するに「Folkways」なるものは多數の人が同時に些末なる動作を幾度も反覆し、同時に同一の必要に對して同一様に活動する時に發生し、終に個人に於ては習癖ハビットとなりて現はれ、社會に於ては習慣カストムとなりて現はる。而して此習癖習慣なるものは能く其勢力範圍内に在りて各個人を動かし、社會現象の大部分の動力たるもの

なり。此動力と云ふことに關して學者間に諸種の説あれども、其最も人の注意を引きたるものは「リード」氏の議論なるべし。「リード」氏は社會の主要なる勢力として生命保存の勢力a、積極的——快樂を求む、b消極的——苦痛を避く、生殖の勢力a、直接的——性慾、b間接的——血族間の愛情を擧げ、主要ならざる社會的勢力としては美的勢力、情緒的勢力、智力的勢力を算へたり。此の如きは單に人間慾望の分類として見るべきものにして、之を以て社會的勢力と云ふは當を得たるものと云ふべからず。此種の慾望は個人の動作を引起す處の動機にして、是が社會的なる形容詞を冠する爲には必ずや個人と個人との間、若くは社會と社會との間、若くは社會と個人との間の關係を含まざるべからず。即ち本誌第三卷第五號に於て論じたる如くに社會的勢力は必ず下の四個の中何れかに屬せざるべからず。(1)一の個人心意より他の個人心意に對して運動を與ふるもの、(2)一の社會心意より他の社會心意に對して運動を與ふるもの、(3)一の個人心意より社會心意に對して運動を與ふるもの、(4)一の社會心意より個人心意に對して運動を與ふるもの是なり。「Folkways」の發生は其始め一個人の經驗動作が他の個人の心意に傳はり、遂に社會一

30

般に及びたるものなれば此(1)に相當せり。而して社會一般に行はれて其習慣となれば積極的、命令的、專制的に其社會の個人をして服従して少も違ふことを得ざらしむるは即ち(4)の社會心意より個人心意に對して運動を與ふるものにしてサムナー氏が Forkways を以て一種の Social force なりと云ひしは誠に其當を得たるものなり。

先にも云ひしが如く余が博士に就て親しく教を受けたる頃はスペンサー氏の餘流を酌む人とのみ思ひしに其 Forkways を論ずるに當りては甚だ其趣を異にし近世心理派の社會學者と全く其説を同うするものあるは余の大に驚く所なり。是れ氏が其持論を棄て世と推移りて新學説を取るに至りしものか、將た余が氏の教を受けたるは僅一年に滿たざりしと且余の不明なる氏の學説の一小部分を見て輕忽にも其全部を相し其實際と相違せる判斷を下せるものなるか、何れにしても稍舊派と思ひし老博士が例の暗示の説を以て Forkways を説くべしなどは當時余の夢想だもせざりし所なり。暫らく博士自身の云ふ所を聽け曰く「吾人は常にフオルクウエース發生の進行を見ると雖其進行の有様を分析することは甚難

し、群集の中には其群集を形成する所の個人の心意と異なる一の心意あるが如く見ゆ、實際或學者は此の如き學説を立てたり、強力なる心意は自己暗示によりて能く心意と心意の間に暗示せられて傳搬する所の諸觀念を生ず、即ち其觀念と一致する所の動作は模倣せられ人と人との間に授受の關係をなす、此進行は結局發展の夫れにして新暗示は常に踵を接して到り既に存在する所のものと相結合す。

此の如く此種の發展が一步を進むる毎に他の心意が捕へて以て模倣すべき點を増す、彼大發明なるもの、生ずるは此種の進行に依るもの、如し。知識は此の如くにして得られ、此の如くにして擴張せらる。而して群集なるものは其之を形成する各員の力の合計以上の不思議の力を有するの觀あり。然れども是は協働と暗示の然らしむる所なり。暗示なるものは群集の上に働き掛くる時には非常に有力なるものにして、其理由は暗示が能く潛勢力を呼び起し分散せる勢力を集中せしめ其捕捉せるものを實證し訂正し誤謬を除き結合によりて構成をなすにあり。此の如くにして合同的活動より得らるゝ效益は充分に證明せらるべく、*Voigt's* *kerpsychologie* の諸學説は無用の長物として退けられざるべからず。フオルクウ

31

エースは實に此の如き進行によりて文明史の曙光より今日まで絶えず常に發展しつゝありしなり。暗示に關する諸現象は須らく大なる注意を以て研究せられざるべからず、如何となれば團體の各員は常に之によりて互に影響しつゝあるものにして且つ群衆間に起る諸現象は之に依りて始めて説明せらるべき場合甚多ければなり。」と是實に最も進歩したる社會心理學者の一人たる佛國のタールド氏の模倣論と相去ること遠からず且ルボン其他の諸學者が社會心意、群衆心意等のものを以て全然個人心意より離れたるものゝ如く論ずると大に趣を異にせり、群衆の心意なるものは一時其個人心意を超越するものなるかの如く見ゆれども其實は只個人心意が互に暗示するより此の如き結果を生ずるものにして、換言すれば多數の個人が精神的に相結合するや自ら其衆力を恃むの傾向あり、殊に多數の事なれば責任の歸する所明ならざる爲人々自ら衝動的となり自己の獸性を暴露し且つ人々相接し居るを以て互に暗示して遂に一見其群衆を形成する個人と全く性質を異にするが如き所謂モツブスピリットを生ずるものに過ぎず。故に群衆の精神なるものは其之を形成する個人の性質とは多少別種のものゝ如く

なれども其實は互に群集せる自然の結果として個人性の或一方面が誇大的に發現せられたるのみにして結局群衆の精神の要素は個人にあるを疑ふべからず。故に沈重なる英人の群衆を以て輕快なる佛人の群衆に比せば必ずや英人の群衆は其之を形成する個人としての英人よりは多少激し易き傾向あるべきも、大體に於て佛人の群衆の喧々囂々たる大に趣を異にすべし。紳士の會合にも随分如何はしきものなきに非ずと雖も之を車夫の會合に比すれば少くとも多少の紳士的態度を認むることを得べし。故に群衆の群衆らしくなるは個人が集合すれば然かくならざるを得ざる理由あるに依るものにして結局個人の性格により群衆の性格も決定せらるべきものなり。サムナー博士の論も要するに是に外ならず色氣と食氣と恐氣を以て社會活動の唯一の動機となせる老博士も斯學の發展に伴ひ大に反省する所あり、心を社會的心理の研究に轉じ新進の學者と轡をならべて突進せんとするの氣概は明に此處に睹るべく齡古稀を過ぎて其氣力の益盛なるを知るべし。

サムナー氏は又「フオルクウエースは無意識に發生す」と説きたり即ち人が其初

34 に當り其慾求を満足せんとするや、其動作は全然單獨のものにして其直接の結果以上を洞察すること能はず、然れども其慾求が屢々繰返へざるゝ時は之を満足せしむべき同一手段も屢々繰返へされて遂に習慣習癖なるものを生ず。而して此習慣習癖なるものは其始め決して意識せられたるものにあらず、又其習慣習癖の成立したる後も久しく之を自覺するものにあらず、況んや此習慣習癖の價值が承認せられ意識的に之を利用して他の諸目的を達せんとするに至るまでには更に數層高等なる精神の發達を要するものなり。去れば如何なる時代にても如何なる社會の程度にありても人間の生活は其祖先時代より繼承し來れる異種多様のフオルクウエースに依りて支配せらるゝものなり。即ち文明人たる吾人と雖も只隣人が然かく行ひ又祖先が然かく行ひ來れるより何の理由もなく盲從的に其習慣を奉じて疑はず、ラザラスの云へりしが如く人は其搖籃より墳墓に至るまで其習慣の奴隸なり。而して慾求はフオルクウエース發生の原因なることは先に屢々述べたるが如し然れども人が或手段によりて其慾求を満足したる丈にては固より未だフオルクウエースを形成したるものにあらず。然らば如何にして

之が發達して一の社會的現象となるやと云ふにサムナー氏は之を無意識なる暗示の力に歸せり。此の如くフオルクウエースは合理的批評に依りて生じたるものにあらずして只雷同的傳説的に、個人より個人に、社會より社會に將た個人より社會に、社會より個人に傳搬の結果として成立せるものなれば、全く無用に歸せる習慣と雖人々によりて何の理由もなく遵奉せらるゝものなり。又其當初の目的精神が全く失はれ所謂存在の理由なくして其形式のみ依然として殘留するもの甚多し。其上フオルクウエースは原人の不合理なる知識より出でたるもの多く隨て不合理なるフオルクウエースは甚多し。サムナー氏の擧げたる例の一二を紹介すればモレンボトと云ふ蠻地に於て一の葡萄牙人が死去したる後傳染病が其地に行はれければ其後土人は全力を盡くして白人の其土に死亡することを妨げたり。ニコバル諸島に於て始めて陶器を造ることを學び得たる土人が頓死したることあり、其後は島人製陶を全廢したり。或白人は一のブッシマンに權威の表章として扣鈕ボタンを以て裝飾せられたる杖を贈りたるに其ブッシマンは急に死亡せり。更に之を譲り受けたる息子も間もなく死亡しなければ其他の土人は杖の祟を

恐れて之を白人に送り返へせり。ヤクツ人が始て駱駝を見たる後天然痘が流行せしかば彼等は其原因を駱駝に歸し之を憎むに至れり。我日本に於ても之に類したる例は指を屈するに暇あらず彼所謂御幣をかつぐものゝ如き皆是なり。又文明國と自稱する歐米の先進國中にも此種の事は意外に多く時々吾人をして噴飯に堪へざらしむるもの勘からず。随てフオルクウエースの中には有害無益のものも甚だ多し譬へば貴人の死するや其従者を之に殉死せしむるが如き又人の死後其遺産を破滅して貴重なる社會の資本を減少するが如き又は非常なる財帛と人命を犠牲にして偉大なる金字塔を造營するが如き皆死後に關する迷信より出でたるものにして大害ありて寸效なき習慣なり。

乍然フオルクウエースは此の如く有害の者を含むと雖も大體より見る時は人々の長年月の經驗より出でたるものなれば社會の生存上缺くべからざるものにして社會の生命は之を作り之を應用するにありと云ふべし。道德の起原、政治の起原、法律の起原、宗教の起原皆此處にあり、一國の文明とは實に其フオルクウエースにより決せらるゝものなりと云ふを得べし。人間の社會的活動を衝動的、形式

的批評的の三種に分たばフオルクウエースは其始め無意識的、衝動的に發生したるもの而して既に具體的の習慣となりて之が社會に傳播するに至れば即ち傳說的形式的なり。然れども只無意識に發生し形式的に遵奉せらるゝのみにては社會の進歩に貢獻する所甚だ少かるべし。是に於て人智少しく進むに隨ひ意識的活動漸く勢力を得て舊慣を吟味し習俗を詮考し因循姑息を避け工夫意匠を凝らし只管社會の向上を謀るに及ぶ。故にフオルクウエースは保守的のものにして社會の文明を維持し其生存を守る所の消極的要素なり、之に反して批評は進歩的のものにして積極的要素なり。然れども舊慣にのみ怩む社會は化石し易く批評にのみ傾く社會は時に危險の虞あるを免れず、此兩者の調和宜しきを得て社會は繁榮し國家は富強なるべし。然れども不合理にして有害無益なる迷信と輕兆浮薄若くは暴虎馮河の舊慣破壊は斷々乎として排斥すべきは論を待たず。近來俗務多端にして思を練り辭を選びて文を行ふことを得ず。聊舊師の説を紹介し兼て少しく素懷を述ぶるものなり。